

成長領域における事業化の推進

DNPは今、国内外で影響が拡大している社会課題に対して、事業を通じて、その解決を図っていく取り組みに力を入れています。「P&I」の強みでモノづくり基盤とICT基盤をより強固なものにし、DNPならではの事業化テーマを選定して、新しい価値を生み出していきます。

すべての成長領域に関わる事業化テーマ

3.3

兆円

▶働き方改革関連事業
個人の強みを最大化し、相乗効果を高める働き方
* 2022年の国内の働き方改革ICT市場 (IDC Japan)

77.3

兆円

▶次世代通信関連事業
5Gに向けた“ハード&ソフト”の価値創造
* 2025年5G市場の世界需要額見直し (電子情報技術産業協会)

4つの成長領域と事業化テーマ

▶～事業=DNPが取り組む事業化テーマ *～=関連市場・ターゲット

知とコミュニケーション

世界の人々が安全・安心にコミュニケーションの機会を拡大し、知を継承・発展できる未来

640

億米ドル

▶コンテンツビジネス関連事業
知を継承・発展させ、体験価値をグローバルに展開
* 2022年の音楽・映像・出版・ゲーム・VRの日本市場 (経済産業省「コンテンツの時代」研究会報告書)

76

兆円

▶デジタルマーケティング関連事業
“お買い物”の体験価値を高めるデジタルトランスフォーメーション
* 2024年度のオムニチャネル・コマース市場 (野村総合研究所)

126

兆円

▶決済サービス関連事業
安全・安心なキャッシュレス社会に向けて
* 2023年度の国内キャッシュレス決済市場規模 (矢野経済研究所)

26

兆円

▶教育・人材育成関連事業
STEAM教育/ICT化/生涯学習の進展
* 日本の教育産業市場 (2017-2018年) (文部科学省) (STEAM=Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)

1.9

兆円

▶データ流通関連事業
安全・安心な情報流通プラットフォームの実現
* 2024年日本のビッグデータ分析市場 (IDC Japan)

1,691

億円

▶シェアリングエコノミー関連事業
“所有から利用へ”という社会変化をリード
* 2023年度の日本のシェアリング・エコノミー市場 (矢野経済研究所)

33

兆円

▶メディカル・ヘルスケア関連事業
健康寿命の延伸とQuality of Lifeの向上
* 2025年公的保険を支える公的保険外サービスの産業群 (経済産業省委託事業)

5.2

兆円

▶ライフサイエンス関連事業
再生医療/遠隔医療等の進展
* 2030年の国内外の再生医療周辺産業の市場 (経済産業省)

住まいとモビリティ

世界の人々が暮らし、移動するあらゆる生活空間が快適で安全・安心に保たれている未来

17.6

兆円

▶スマートシティ関連事業
より心地よく機能的な生活空間の実現
* 2022年のスマートシティ関連の世界市場 (IDC Japan)

6.4

兆円

▶次世代モビリティ関連事業
移動弱者のいないスマートモビリティ社会の実現
* 2030年の国内MaaS市場 (矢野経済研究所)

1.5

℃

▶気候変動対応関連事業
地球温暖化を抑制するソリューションの提供
* パリ協定での地球の気温上昇抑制目標 (2015年COP21)

475

兆円

▶環境関連事業
環境負荷の低減と循環型社会の実現に向けた価値創出
* 2030年までに循環経済により産み出される経済効果 (2016アクセンチュア調査報告書)

0

人

▶インクルーシブデザイン/ユニバーサルデザイン関連事業
多くの人にとって使いやすい製品・サービスの開発・提供
* SDGsでは2030年までに誰一人取り残さない社会の実現をめざしている
* 2030年の世界人口85億人 (国連調べ)

50%

削減

▶製造～物流のサプライチェーン関連事業
モノづくりとICTによる食の安定供給とフードロス削減等
* 2030年までの食品ロス削減目標 (環境省)

0

▶循環型社会実現に向けた各種事業
生態系の保全にもつなげる資源・プラスチック循環等
* 2050年までに海洋プラスチックによる新たな汚染をゼロに (2019年6月、G20大阪サミット「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」)

食とヘルスケア

世界の人々の生命への不安が解消され、生涯にわたって、安全・安心で質の高い生活を全うできる未来

環境とエネルギー

地球環境への負荷を減らし、世界の人々と地球が共生できる持続可能な未来